

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

美術



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	美 術
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
開隆堂出版(株)	9	開隆堂	美術
光村図書出版(株)	38	光 村	美術
日本文教出版(株)	116	日 文	美術

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
美術	9	開隆堂	美術1 美術2・3

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<p>○学習指導要領が示す美術科の目標を踏まえて、より効果的に学べるよう題材の整理や構成を観点別に掲載している。また、系統的学習を重視した題材を構成しており、内容や範囲も適切である。</p> <p>○発達段階に応じて学習に取り組めるとともに、道徳や他教科との関連も題材ごとに示され、生活や社会との関連も学べるようになっている。</p> <p>○2・3年が1冊にまとめられ、題材選択できるように配慮されている。</p>
	2 内容に関する配慮事項	<p>○「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、各題材で表現と鑑賞を関連させて学習できるようになっている。</p> <p>○美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つに分け、学習の目標として示されている。</p> <p>○【共通事項】は、「学習の目標」の中に示され、全題材で学びが深まるように工夫されている。</p> <p>○全題材に題材導入動画をQRコードで示し、生徒の活動への興味・関心を喚起できるようになっている。また、生徒が必要に応じて動画で技法を確認したり、多くの生徒作品を見たりすることもできる。</p> <p>○小学校図画工作科からの接続として、見通しを視覚的に捉えられるように構成されている。</p>
	3 分量	<p>○各領域及び分野の内容に偏りがなく適切に配分されている。</p> <p>○3年間の発達段階に応じて1と2・3に分け、系統的に配列されている。</p>
	4 使用上の便宜	<p>○教科書の使い方を示すアイコンやキャラクターによって、各ページのどこにどのような学びのポイントがあるかを分かりやすく示してある。</p> <p>○ページの上部に題材毎で色別に表示されているので見やすい。</p> <p>○折り込みページや大型図版で作品が掲載されており、鑑賞学習への興味・関心を高められるようになっている。</p> <p>○美術の用語が示されており、生徒に伝わりやすい工夫がされている。</p> <p>○QRコードにどのようなコンテンツが入っているのかを、各題材名の上部にまとめて示し、見て確認することができる。</p> <p>○発想を広げるアイデアシート、鑑賞を深める「鑑賞シート」、ふりかえりシートをQRコードから読み取り、授業で活用できるようになっている。</p>
	5 印刷・製本等	<p>○テクスチャが感じられ、見て美しく触って楽しい表紙になっている。</p> <p>○紙は適度な厚みがあり、ざらつきが押さえられることで、発色が良くなっている。</p>

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることが出来る内容になっている。 2. 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。 3. 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。 4. 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5. 「思考力、判断力、表現力等」を高めるために、言語活動の充実を図ることが出来る内容になっている。 6. 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることができる内容になっている。 7. 「A表現」の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。 8. 「B鑑賞」の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することができる内容になっている。 9. 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解することが出来る内容になっている。 10. 事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導など徹底を図ることが出来る内容になっている。
-------------------	--

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
美術	38	光村	美術1 美術2・3

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<p>○発達段階に応じて学習に取り組めるとともに、道徳や他教科との関連も題材ごとに示され、生活や社会との関連も学べるようになっている。</p> <p>○2・3年が1冊にまとめられ、題材選択できるように配慮されている。</p>
	2 内容に関する配慮事項	<p>○「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、各題材で表現と鑑賞を関連させて学習できるようになっている。</p> <p>○美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つに分け、学習の目標として示されている。</p> <p>○各題材の始めに、表現につながる鑑賞作品を掲載し、対話活動を深められるように問いを示している。</p> <p>○【共通事項】を意識できるよう「POINT」という吹き出しに問いかけを掲載し、鑑賞の視点を分かりやすく伝えている。</p> <p>○発想や構想の手立て、制作過程が掲載され、生徒が主体的に学習できるようになっている。</p>
	3 分量	<p>○3年間の発達段階に応じて1と2・3に分け、題材数や領域のバランスが工夫されている。</p> <p>○状況に応じて選択が出来るよう、題材が設定されている。</p>
	4 使用上の便宜	<p>○図版を極力大きく見せる工夫がされている。</p> <p>○教師と生徒のキャラクターが対話をしているようなレイアウトになっており、対話活動を広げるヒントになっている。</p> <p>○美術1資料が別冊になっており、3年間活用できるようになっている。資料では、技法・色彩・形・発想の手立てについて系統的に整理して掲載され、各題材の学びを支える資料となっている。</p> <p>○QRコードから学習の参考となる映像資料などにアクセスでき、見るだけでなく生徒自ら主体的に学習出来るような工夫がされている。</p> <p>○生徒作品の掲載だけでなく、制作過程やQRコードから作者である生徒の思いを見ることが出来る工夫がされている。</p>
	5 印刷・製本等	<p>○製本は堅牢で、表紙はビニル加工されている。</p> <p>○別冊資料は開きやすいような綴じ方にして、各学年の教科書より一回り小さくすることで中にはさむことができるようになっている。</p> <p>○日本絵画に和紙風の紙を使用しており、他のページとサイズを変えているので、興味を持って見ることが出来る。</p>

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることが出来る内容になっている。 2. 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。 3. 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。 4. 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5. 「思考力、判断力、表現力等」を高めるために、言語活動の充実を図ることが出来る内容になっている。 6. 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることができる内容になっている。 7. 「A表現」の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。 8. 「B鑑賞」の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することができる内容になっている。 9. 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解することが出来る内容になっている。 10. 事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導など徹底を図ることが出来る内容になっている。
-------------------	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
美術	1 1 6	日文	美術 1 美術との出会い 美術 2・3上 学びの実感と深まり 美術 2・3下 学びの探求と未来

項 目	項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果	
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○発達の段階に応じて学びを深めるとともに、道徳との関連も数多く示され、他教科や生活や社会と美術の関連も学べるようになっている。 ○3年間の発達段階に合わせ、3冊に分けられて題材設定されている。
	2 内容に関する配慮事項	○「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の分野で構成され、全ての題材で表現と鑑賞を一体的に学習できるようになっている。 ○美術で育てる力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に基づく「学びの目標」で示され、評価と一体化されている。 ○全題材で【共通事項】への気付きを促す「造形的な視点」が示され、生徒が主体的に学びを進められるように工夫されている。 ○全題材の主文とセットで題材導入動画をQRコードで示し、生徒の活動への興味・関心を喚起できるようになっている。また、動画で技法を確認したり、多くの生徒作品を見たりすることもできる。 ○表現と鑑賞の一体化を意識した学習の流れになっている。
	3 分量	○各題材が系統的に掲載され、3冊に分かれているので、各学年の学習に合わせて適切な量になっている。弾力的な指導計画を可能にする短時間の題材も紹介されている。
	4 使用上の便宜	○A4ワイド版で、原寸大の作品資料や大きな図版、細部まで分かる画像等が、作品の良さや美しさが伝わるように掲載されている。 ○生徒や作家の作品だけでなく、制作風景や作者の言葉や発想・構想の資料も掲載され、学ぶ意欲が喚起されるようになっている。 ○巻末の「学習を支える資料」では、技法・色彩・発想の手立て・美術史について系統的に整理して掲載され、各題材の学びを支えている。 ○全題材にQRコードが載っており、題材の導入に見せる動画が掲載されている。 ○全題材名の下に、造形的な見方・考え方に気付かせるための問いかけがある。
	5 印刷・製本等	○製本が堅牢で、表紙には耐水コートも施されている。 ○作品の材質感や色彩の鮮やかさなどが再現され各図版が美しく、紙質も良い。

<p>教科ごとの選定の観点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることが出来る内容になっている。 2. 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。 3. 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。 4. 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5. 「思考力、判断力、表現力等」を高めるために、言語活動の充実を図ることが出来る内容になっている。 6. 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることができる内容になっている。 7. 「A表現」の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。 8. 「B鑑賞」の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することができる内容になっている。 9. 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解することが出来る内容になっている。 10. 事故防止のため、特に刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導など徹底を図ることが出来る内容になっている。
-------------------	--